

ニチイキッズ曙橋保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。

また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月30日（金）～2月13日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月14日（土）
	実施方法	個々に意見を出してもらい保育施設の課題を明確化し、改善策を検討し職員全員に共有した。

項目ごとの評価	
保育理念	ニチイの理念『おもいっきり遊ぶおもいっきり学ぶ』の保育理念に基づき月案・週案・個別計画におろしていけるように考えていった。具体的な保育実践方法として繋がる保育を実施した。
子どもの発達援助	子ども主体の保育環境を人的、物的面の両方から考え見直していった。子どものプライバシーについてはさらなる配慮を意識し適宜見直しを行った。子ども達が主体的に過ごせるように考えていった。人・物的環境面ではさらなる工夫が必要なためより良い保育を行っていききたい。
保護者に対する支援	行事は保護者アンケートの意見も取り入れ参加型の行事を積極的に行った。運動会も全体での開催を行い、建物は分かれていても1つの園である意識を持てる行事運営を行った。保護者同士のコミュニケーションの場ともなった。
保育を支える組織的基盤	職員会議を通して子どもの人権、主体性について考える時間をとって意見を交換した。人権、不適切保育、子ども一人一人の発達について話をすすめる中に志を固めている。

総評
子どもの人権、主体性を原則とした保育を各自が意識し保育を行うようになってきている。小さな保育環境の見直し、時にはマニュアルを確認し丁寧に行っていた。保護者に様々な行事への参加の機会を設け、安心安全な保育環境であることを公開していった。ニチイの保育理念を実際の保育方法として丁寧に話し合うことで共通理解が深まってきた。地域の子育て支援においては日々の保育、行事への参加を積極的に呼びかけ、地域家庭が足を運びたいくなるような活動の計画を実践していききたい。